

令和5年度 第2回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和6年2月13日（火）午後1時30分より
開催場所	健康文化センター 1階 多目的室
出席者名	議会議員代表 2名 民生委員・児童委員代表 3名 保護者代表 8名 事務局 9名
次第	1 副委員長(職務代理)挨拶 2 議題 (1) 令和5年度保育所運営の報告について 南保→西保→北保→大口中保(資料1-1、1-2、1-3、1-4) (2) 令和6年度保育所運営について (ア) 令和6年度保育園園児数について(資料2) (イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」(資料3) 3 その他

(進行：副委員長(職務代理))

副委員長 (職務代理)	1 挨拶
保育長	2 議題 (1) 令和5年度保育所運営の報告について (保育園全体としての報告) 新型コロナウイルス感染症については、昨年5月に分類が変更になったため、行事や保育内容を再度確認しながら保育の計画を立てた。混乱なく進めてこれたと思う。秋ごろからはインフルエンザが大流行し、感染拡大状況に合わせて「自由登園」の対応をとった。 今後も状況に合わせ、対応をとっていくので、引き続きご理解ご協力をお願いしたい。 登降園管理システムについては、保護者のみなさんの有意義な時間活用、同時に、保育士の業務の効率化を目指し、10月から運用を開始した。登降園管理、お知らせ配信、延長保育料の請求管理をアプリで行っている。みなさんのご理

南保育園 園長	<p>解ご協力のもと、運用を進め、現在約4か月が過ぎたが、欠席連絡等の電話対応や、おたよりなどの印刷、延長時間の確認に要する「時間」の軽減につながっていると感じている。こちら引き続きの運用へのご理解ご協力を、お願いしたい。</p> <p>南保育園の取り組み報告（資料No.1－1）</p> <p>SDGSの取り組みを始めて3年目となる今年は、住んでいる町について知り、地域の人と触れ合うことで、豊かな心と地域への愛着心を育むをねらいと掲げ過ごした。</p> <p>写真に沿って説明する。1、2段目の写真、園外散歩・地域交流では、園周辺は田畑に囲まれ、四季折々の草花が咲き、豊かな自然に恵まれた環境を活かして、1年を通して季節を感じながら農道や園周辺の散歩をしてきた。そんな中で、子どもたちは興味や関心をもったことを観察したり、絵本で調べたりする姿が増えてきた。学芸員さんから地域にまつわる話を聞いたり、実際に現地へ出向いたりしながら、郷土を愛する活動も継続して取り組んできた。今年度は、安心・安全に、散歩に出かけることができるようにと、南地域の老人会、秋田、豊田、大屋敷地区それぞれの地域の方々の協力を得て、散歩サポーターとして参加していただいた。昨年度から再開した地域交流の中で、園の取り組みを知っていただけたことから、散歩サポーターとして交通安全着を着用して参加してくださるなど 地域の方が園の取り組みに対して理解していただけたことは、大変嬉しいことである。子どもたちは、保育士・地域の方の多く見守りで、安心安全な環境の中で、のびのびと散歩を楽しみ、学び得ることも多かった。地域の方との交流の様子は、その都度保護者に掲示などで知らせ、地域との関りが密になっていっていることを知っていただいている。</p> <p>3段目の 郷土愛かるたの作成については、散歩や普段の遊びの中で、子どもたちがつぶやいた言葉を拾って読み札を、また子どもたちの経験や発見を描いた絵や写真を絵札にして南保育園オリジナルの郷土愛かるたをつくった。左の写真は、大屋敷地区の長松寺へ汗かき地蔵を見に行った時に、お賓頭盧様についても学芸員さんから話を聞いた。お賓頭盧様の身体の部位をなでることで、病気予防やケガが治るといわれている。その話を聞いた後、年長児がお賓頭盧様の足をなでながらこのように言っていた。「おびんずるさま、あしをなでて あしがはやくなりますように」と。そして、保育園に戻ると早速絵にしていた。この他にも子どもがつぶやきを拾ったかわいらしいかるたがたくさんできた。かるた1枚1枚にはそれぞれエピソードがある。かるたで遊びながら思い出を振り返ることにもなり、大いに盛り上がっている。また、保育士の中では、かるたから子どもの理解にも繋がっている。地域の方を園に招いての交流会</p>
------------	--

でも、一緒に楽しんでいただいた。住んでいる町は素敵だなと子どもたちも感じ、地域の方々には子どもたちの姿を知らせる良い機会にもなった。

食育活動については、1年を通して食育サポートの方に野菜の栽培の指導をいただき、子どもたちは野菜を身近に感じ、観察、世話をしている。収穫できた野菜を給食でいただくことで、食べる喜び、人や物への感謝の気持ちが育まれるように取り組んできた。今は冬野菜の収穫の時。霜が降りた翌日は、畑の土が凍っていて、ネギやダイコンはなかなか抜けない。そんな自然事象の貴重な経験もできている。

4段目の写真、体力づくりについては、園庭にあるジャングルジム、登り棒、滑り台、ブランコなどで遊んだり、広い園庭を走って元気いっぱい遊び、年齢に応じた体と心の豊かさを育ててきた。いつでも遊べる環境で、正しい使い方や安全な遊び方を知らせ、友達が遊んでいる姿を見て刺激を受けやってみようという気持ちが育つ環境にあることは、南保育園の強みであると感じている。また、堀尾跡公園や桜塚古墳に散歩に出かけた思い出を運動会の中で再現して運動遊びに取り入れて楽しむこともした。2枚目の写真は、あたかも橋を渡っているように見えると思うが、奥に平均台がある。子どもたちと保育士が協力して裁断橋を再現した様子の写真である。見ているほうも楽しくなる、また、やりたくなる環境づくりを心掛け、子どもたちの意欲を引き出している。

絵本の読み聞かせについては、保護者のボランティアさんに、絵本の読み聞かせを行っていただいている。この取り組みは何年も引き継がれている。普段の保育士の読み聞かせとは違った特別感のある日で、子どもたちもこの日を楽しみにしている。この先も続いてほしい取り組みである。

地域や保護者とのつながりが深まり、目標としている「子どもを真ん中にした関係づくり」が地域の方々の中にも根付いてきていることを感じる1年になった。

今後も地域をはじめ、様々な人たちとのつながりを大切にしながら、こどもを真ん中にした街づくりを目指していきたい。

南保育園
父母の会会長

(南保育園 父母の会活動報告)

- ・バザー
- ・保育園の夏祭りで出店
- ・お楽しみ会の開催（「かけはし」による交通安全指導、マジック）
- ・保護者ボランティアの「ともちゃんズ」 絵本の読み聞かせ 5回
- ・写真販売 3回（撮影は15回）

西保育園

西保育園の取り組み報告（資料1－2）

園長

西保育園は持続可能な開発目標12番「つくる責任 つかう責任」と17番「パートナーシップで目標を達成しよう」のSDGsを掲げ、「食に対する感謝の気持ちを育み、給食の残食を減らす」を目標に「給食の残食0をめざそう」と子どもたちと取り組んできた。

つくる責任とパートナーシップとして、畑で食育サポートさんと一緒に野菜を育て、収穫している。今年度は16種類の野菜を作り、給食で美味しくいただいた。(左上の写真)は年中児とさつまいも掘りをしている所である。食育サポートさんのおかげで、畑にはいつも色々な野菜が育っており、世話や収穫のために畑に行っては野菜を見て、触れ、匂いをかぎ、興味や関心を持つことができた。野菜が苦手だった子ども自分から食べる姿が見られるようになった。保護者の方とも一緒に野菜の収穫を行い、採れた野菜は持ち帰っていただき、畑で作った野菜を廃棄しない「フードロス削減の意識」を保育園から家庭へつなげている。(上段中央の写真)

平成23年から西食育サポートとして、畑で子どもたちのために野菜作りや世話、収穫をしてくださったみなさんが、ご高齢となられたこともあり、今年度でご勇退される。来年度からは新しい食育サポートさんになる。3月1日(金)に「感謝の集い」を開催し、(右上の写真)のように園児との交流を持ちながら、13年分の感謝を伝えたいと思っている。

つかう責任においては、給食の残食を減らすために、食べ物に関心が持てるように年長児が給食前とおやつ前に「給食Gs」という園内放送を行っている。始めた頃は、保育士と一緒にいたが、今では調理室に行き、「給食に入る園作の野菜」「残食量」を調理員の先生に聞き、ホワイトボードに残食量を記入し、話す内容もすべて自分たちで相談したり決めたりして行っている。子どもならではのやりとりをしながら年長児が主体的に考え、行動し「給食Gs」の園内放送を進めている姿に頼もしさを感じている。(2段目左と中央の写真)年長児ができない時は、年中児が代わって放送を行っている。毎日聞いているので、話す言葉も覚え、嬉しそうに、そしてちょっと恥ずかしそうに放送し、給食Gs放送の取り組みが子どもたちの中に日常となり、つながっていることを嬉しく思う。

「残食ゼロ」の日は「給食Gs」放送で、音楽が流れる。聞いていた年少・年中児は音楽が流れた途端、大喜びをする。(2段目右の写真)1月末までの残食ゼロの回数は、15回だった。昨年度は29回だったので、減少している。しかし、残食量を比較すると、昨年度は498.2kgだったが、今年度は461.5kgで、約36.7kg減少した。1日の平均残食量は2.2kgで、約牛乳2本分の重さである。

今年度は「給食の残食がどうなるのか」という「食の循環」についても子ども

そび、MOTTAINI 工房など、木に親しみながら地域の方と一緒に楽しんだ。参加した地域の方に「けん玉上手だね」「カプラのすごいのができたね」など声を掛けてもらった時の得意げな顔や、膝にのせてもらったり、やり方を教えてもらうなど甘えた姿も見られた。

食育活動では、「きたきた食育サポート」の方と一緒に野菜の苗植えや収穫を楽しんだ。園舎横の畑なので、野菜の生長を観察し、収穫を楽しみにしていた。最初は年長児が収穫に出かけるが、年中・年少児も交代で出かけて収穫体験をしている。そして、採れた野菜を給食に入れて調理をしてもらい、昼の放送の給食ゴーゴーで年長児が全園児に知らせている。畑でとれた野菜は、特に美味しいようである。放送を聞いて野菜を探しながら、食べる姿が見られる。

コロナ禍でしばらく行っていなかった上小口寿楽会の方との交流会は、今年度お誘いをいただき、年中児が上小口学共にお邪魔した。日ごろ歌っている歌や手遊びを披露し、とても喜んでいただき、一緒に歌ったり踊ったりした。その帰りに、毎年お世話になっている地域の方の畑でカモミールの種まきもさせていただいた。春になり、年長に進級すると、その畑でカモミールの花摘みをさせていただいている。

先週末に、大勢の方に保育園に来ていただき、園舎回廊の油ふきを行った。子どもだけでなく、園舎も地域の方と一緒にきれいにしてお世話させていただき、ありがとうございます。油ふきの様子を子どもたちが見に来て、お礼を言うと手を振りながら笑顔で答えていただけた。今まで積み重ねてきていた地域の方との交流を再開することができ、あたたかく見守られ、子どもたちが成長していることを感じている。今後もご縁を大切にしていきたいと思っている。

SDGs 活動は、持続可能な開発目標 (SDGs) の 17 のゴールのうち、No. 11 「住み続けられるまちづくりを」を目指し、No. 12 「つくる責任 つかう責任」No. 15 「陸の豊かさも守ろう」の目標に向かって取り組んできた。

活動を始めて今年で 3 年目になる。「園舎を大切に作る」を目標にした「ぴかぴか大作戦」で始まった回廊外階段のブラシかけは、毎年続けて行うことで、子どもも職員も要領がわかり、少しずつきれいになっていくことを励みに遊びの中で取り組んでいる。今年度取り組んだ遊戯室前の外階段は、日差しの当たり方の関係か、今までよりも汚れが頑固で何度も磨いた。その他、「地球にやさしい北保育園」の話を保育士が作った紙芝居を使って子どもたちの年齢に合わせて知らせている。冬の時期には、回廊下の通気口に板を年長児と一緒にはめ込んだ。夏は涼しく、冬は暖かく過ごす工夫を体験しながら学んでいる。「森のお守りづくり」は恒例になり、年長児が遠足でお世話になったタイム技研様所有の山「21 世紀創造の森」で切り出していただいた枝を使っている。年長

<p>北保育園 父母の会会長</p>	<p>児が年中児にやすりの掛け方を教えるなど、木育を通して、人と人の関わりも深まっている。</p> <p>SDGsの活動を通し、木造園舎、芝生園庭、桜の木、ビオトープ、回廊に入り込む暖かい日差し、心地よい風など、木や自然を十分に感じる北保育園がいつまでも子どもたちの心の中に残り、大切に守っていける保育園となっていくように努めている。今後も日常生活に取り入れて、子どもたちだけでなく、大口町にとっても大切な保育園でありたいと思う。</p> <p>北保育園 父母の会活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お楽しみ会の開催 7月メリオット体操の収録 8月ヤクルト 10月ダッシュマンショー 2月コマのルパン ゆきちちゃん ・写真撮影 月1～2回
<p>大口中保育園 園長</p>	<p>大口中保育園取り組みの報告（資料1－4）</p> <p>大口中保育園の特色として、主に体力作り、運動遊びに力を入れてきた。体を動かすことの気持ち良さや楽しさを知り、体を動かす意欲を育み、運動遊びを通して成功体験を積むことで、「やればできる」という自己肯定感を向上させるなど保育士や友だちと一緒に身体を動かすことで、心のコミュニケーションも取れて、より良い人間関係を育む取り組みを行ってきた。</p> <p>1段目の写真は、専門指導員による体操・サッカー教室である。一人ひとりに合った目標を立てたり、アドバイスを頂きながら取り組んでいる。右側の写真は2歳児の様子である。室内でも平均台やマットを利用して全身を使った遊びを楽しんでいる。</p> <p>2段目は自然遊びに取り組んだ様子である。昆虫や作物など自然に親しむ取り組みの中で、遊びを見つけ興味・関心の幅を広げる活動を取り入れてきました。左の写真は、アリに興味を持った子がどんな食べ物が一番好きなのか疑問に思い保育士と相談して、実験した場面である。箱の中に、アリとはちみつ・クッキー・ゼリーなどの食べ物を入れ、観察した。ちなみに結果は、はちみつだったそうである。中央の写真は、さつま芋のつるでリース作りをした。つるを円形に整え、その後、リボン・ビーズ・松ぼっくりなど材料を選び、好きなように飾り付けをしてオリジナルのクリスマスリースを完成させた。また、北防災センターに植えてあったコキア(別名ほうき草)を頂き、センターの方と一緒にほうき作りにも挑戦した。抜きたてのコキアを乾燥させ種を落として、出来上がったほうきで掃除を頑張っている。</p>

右側の写真は、色々な花が咲く夏に特に人気の色水遊びである。しおれた花や茎から落ちた花をすり鉢ですったり、水を入れた袋に入れてもむなどして水に様々な色が付いたものでジュース屋さんを開きごっこ遊びを楽しんだ。

3段目は食育活動の様子である。左の写真は、年長児のお菓子作りの様子である。ハロウィンの時期は和菓子で、クリスマスにはクッキーにアイシングなどで飾りを付けたお菓子作りに挑戦した。また様々な感染症の対策をしながら各年次、畑やプランターで季節の野菜を育てたり、収穫した野菜を使ったクッキングも行った。田植えの写真があるが、民生委員の渡辺さんのご厚意により、田植え・稲刈りの体験をさせて頂き、稲の生長、お米の実りを身近に見ることが出来た。精米したお米を頂け、給食に出すと「どの粒が僕のうえた米なんだろう」とつぶやいている姿もみられ、「育てる」「収穫する」「調理する」「食べる」などの体験を通して食に興味・関心を持ち、感謝の気持ちを持てる取り組みが出来た。

異年齢での活動を紹介する。ハロウィンパーティーでは、年少・年中・年長のグループで遊びが違う部屋を回って楽しんだ。各部屋の対応は年長児と父母の会の方々にお手伝いしていただいた。次に年長児のコンサートとあるが、写真はダンスが好きな友だちが集まってお客さんの前で踊りを披露してくれた。他に、手品・けん玉・縄跳び・歌など、自分の得意な事や好きな事をみんなに披露している。観客も午前中の自由遊びの時に周りの子たちに〇〇をやりますから、見に来てください…と声を掛け集め、準備も子ども達で行っている。右側のけん玉の写真は、年長児がお手本を見せたり、持ち方を教えたり数を数えてあげたりしている。異年齢での活動を通して、憧れたりお世話をする中でお互い様々な刺激を受け、興味や関心の幅を広げられる活動に取り組んできた。

このほか自主事業として、一時預かりを行っている。就労・リフレッシュ・就職活動など、今年度も多くの利用があった。

今後も、大口中保育園の特色を大切にしつつ、子どもたちの健やかな成長と、保護者の皆様からの安心感・信頼感を大切に組み込んでいきたい。

大口中保育園
父母の会会長

大口中保育園 父母の会活動報告

- ・ 4, 5月 ミニゲームを含めたバザー
- ・ 8月 バザー、夏祭りの出店
- ・ 11月 パン教室
- ・ 3月 バルーンマジック
- ・ お楽しみ会 ゲーム・英語・ダンス教室
- ・ 写真撮影 写真販売

保育長

(2) 令和6年度保育所運営について

(ア) 令和6年度保育園園児数について (資料2)

昨年11月30日に入園申し込みを締め切り、審査を行い、2月9日に保育所利用承諾書を送付した。

表の左側が各保育園の定員数、真ん中が令和6年度の利用見込数となっている。右側に昨年度の人数を参考として載せている。おおむね確定した数字かとは思いますが、現時点では見込み数とさせていただきます。

6年度の利用見込数は、年度内の途中入所が決定している園児19人を含む数となる。今回、利用調整をさせていただいた方がみえたが、第4希望までの保育園を記入して申し込みをされた方は、みな入園していただける。

6年度の利用見込数は、

南保98人 西保206人 北保167人 大口中保149人

4保育園総合計 620人 となる。

西保育園の3歳以上児と、大口中保育園の3歳未満児が、現時点では定員を超えての入所見込みとなっているが、面積や職員配置は国の基準を満たしているもので、室内環境を整え、受け入れを行う。

(イ) 年間事業計画について「ことしのあゆみ」について (資料3)

左側は主な年間行事で、保護者のみなさんにご参加いただくものは、印をつけてある。

- ・4月5日は午前中に入園式、午後在園児を対象に進級式を行う。
- ・5月の全園児引き渡し訓練は、保育園緊急メールを登録していただき、配信テストを兼ねて行う。訓練はアプリ活用予定だったが、アプリの機能の追加が少し遅れるということで、昨年と同様に「保育園緊急メール」で行わせていただく。いざという時のために、ご協力いただきたい。
- ・6月には、音楽発表会を予定している。
- ・9月は、防災の日に合わせて、防災訓練を行う。毎月避難訓練を行っているが、より内容を充実させ、いざという時に備えたいと思う。
- ・10月の運動会は、ここ数年の暑さを考慮し、6年度から第2週の土曜日開催とさせていただきます。
- ・12月は、生活発表会を予定している。
- ・1月から2月は、けんだま大会・縄跳び大会を行う。
- ・3月28日には卒園式を行う。

行事の見直しとして、「3歳未満児の保育参観」は、年齢が低いため、参観時

	<p>間や参観方法、内容について「保育園での日常の姿をご覧ください」ことに年々難しさを感じるようになってきた。6年度の開催は見送らせていただきたいと思っている。</p> <p>もう1つ、公立保育園年長児のバス遠足について、タイム技研さんの全面的なご協力のもと行ってきたが、山の維持管理の面で、継続が難しくなってしまった。一旦終了とさせていただきたいと思う。ご理解ご了承のほどよろしくお願いしたい。</p> <p>年間行事の下は、6年度の学年の帽子と名札の色となっている。</p> <p>下段には、「毎日家庭で行える子育て3か条」を載せてある。</p> <p>これは学校用の子育て10か条をもとに、(平成27年度に)保育士と幼稚園教諭で作成した。家庭と保育園、そして地域で、一緒に子育てをしていきたいと思っている。身近においていただきたく、「あゆみ」の中に入れさせていただったので、ふとしたときに見ていただけると嬉しく思う。</p> <p>右側には、「園生活の一日の流れ」、その下に「土曜日保育休日保育」の記載をさせていただいているので、それぞれ確認いただければと思う。</p>
<p>南保育園 父母の会会長</p> <p>保育長</p>	<p>質問</p> <p>○バス遠足はなくなるということか？</p> <p>回答</p> <p>○バスを使用しての遠足はないが、徒歩での遠足(秋の遠足、お別れ遠足)は行う</p>
	<p>3 その他</p> <p>委員、事務局より特になし</p>
<p>健康福祉部長</p>	<p>挨拶</p> <p>閉会の挨拶</p>